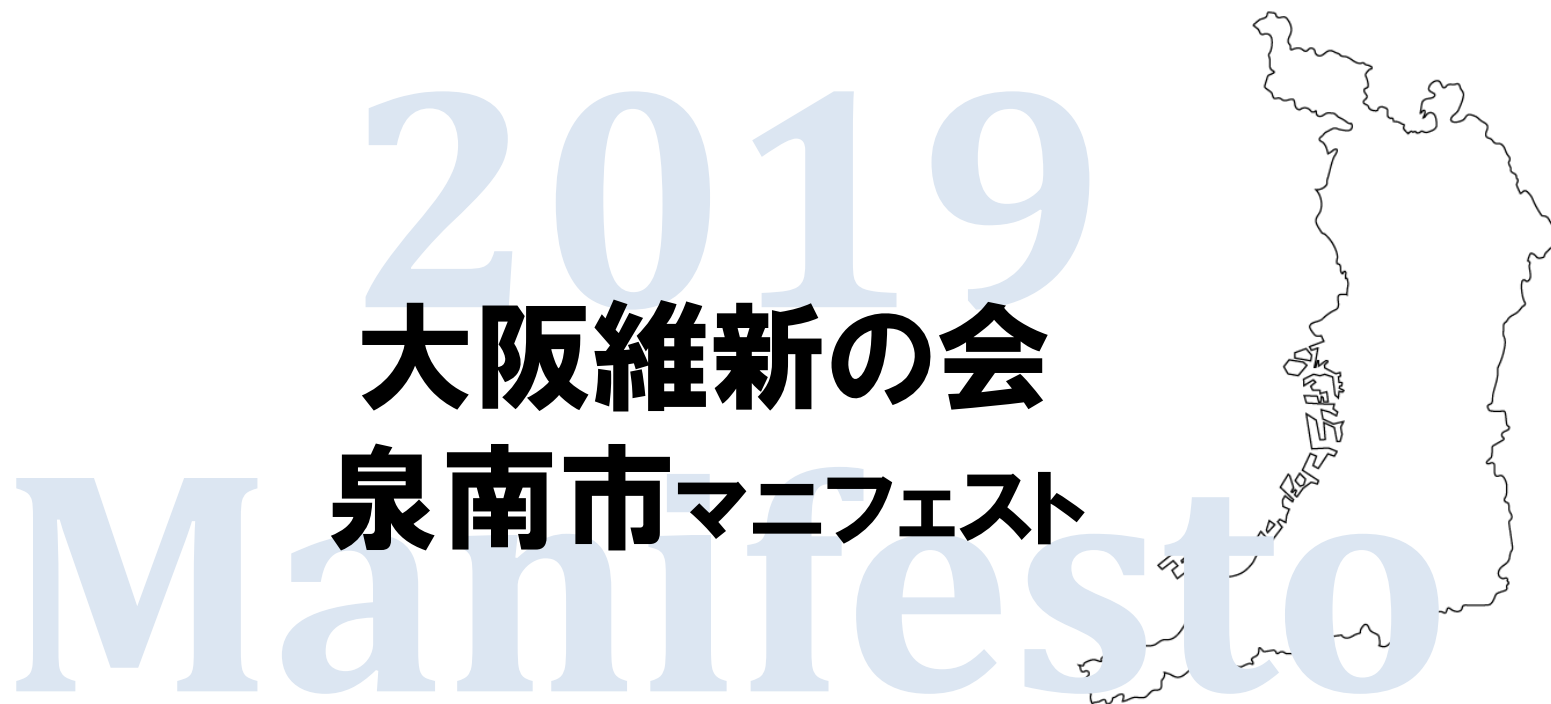
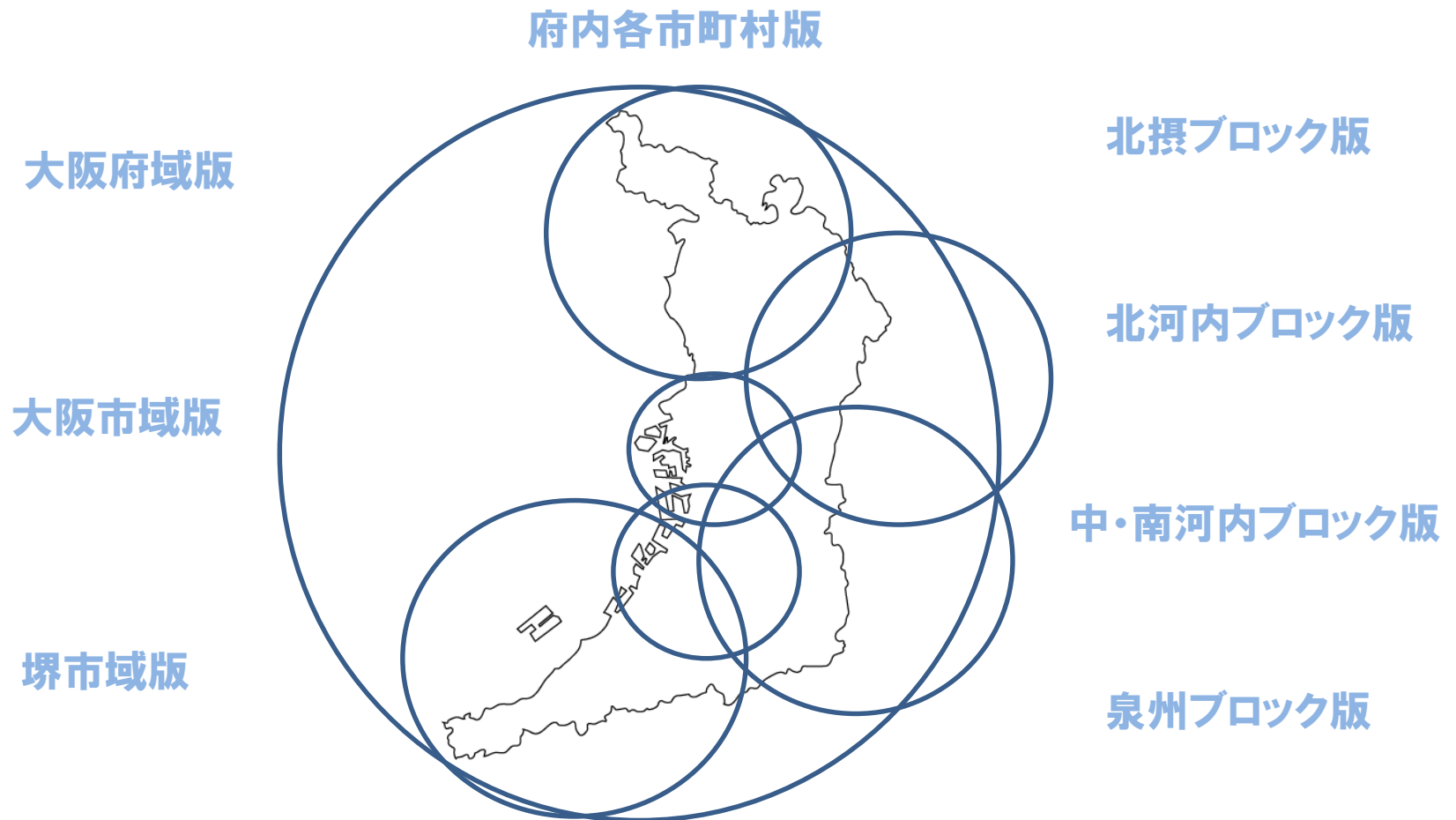


2019
**大阪維新の会
泉南市マニフェスト**



大阪維新の会 マニフェスト2019

大阪府域全体の広域戦略を進めるとともに、
府内各自治体、及び中広域ブロックから総合的に施策立案を展開していく



項 目	具体的施策	現状・課題認識
グローバル化、経済政策、定住促進	●都市計画の見直しによる新たな工業地帯を設定 ●関空が近い立地条件を活かした、税制優遇によるグローバル企業の誘致を推進 ●関空が近い立地条件を活かした、海外出張の多い世帯の移住優遇措置の推進 ●関西万博に伴い、国際化を推進し、友好都市を模索	●人口は、平成17年の64,683人をピークに減少が続いている ●外国との接点が少なく、関西国際空港が近いメリットを活かせていない企業数が少ない ●関西の玄関口であるにも関わらず、国際交流やグローバル化が遅れている
地域活性化	●駅前商店街に飲食店(居酒屋など)を積極誘致 ●JR和泉砂川駅前開発の早期実現 ●都市計画の再編	●飲食店などのサービス産業が低調のため、泉南市内で経済が回らない ●泉南イオン以外で集客拠点となる場所が少ない ●飲食店等が少ないため、地産地消が消極的になっている
時代に沿った議会改革	●議会・市役所のタブレット導入などによるICT化(ペーパーレス化) ●議会倫理条例の制定	●議会で必要な資料を紙媒体で作成・配布することにより、印刷代、紙代、職員の労務コストが余計にかかってしまい、無駄が生じている
徹底した財政改革	●聖域なき事業見直しによる財政改革の推進 ●個別施設計画を考慮した中長期的な財政シミュレーション ●財政調整基金を10億円積み立てること ●財政規律条例の制定	●実質収支比率0%、公債費負担比率19.9%、経常収支比率101.6%、純資産比率44.9%、将4.2%など、財政難が続いており来負担比率107.2%、財政調整基金残高率、財政余力が乏しく、柔軟性に欠ける財政構造に陥っている。 ●社会資本等形成の世代間負担比率が51.1%で将来世代への負担が大きい ●債務償還可能年数が16.5年で、今後も長くなると予想される

項 目	具体的施策	現状・課題認識
ファシリティマネジメント	●ファシリティマネジメント実施の前倒し ●ファシリティマネジメントの近隣自治体との広域連携	●資産老朽化比率が67.1%で平均より高く、老朽化が進んでいる ●土地開発公社解散によって多額の負債を抱えている
都市制度改革 ～泉南市将来都市構想～	●広域化推進 ●合併による効果額などの研究 ●合併特例債等、新元号の合併推進に向けた国への財政的措置の要請 ●研究会の結果をもとにした合併を考慮した協議会を設置	●職員数を十分に確保できず、行財政の効率化を図れない ●厳しい財政状況に陥っており、行政運営の在り方を見直していくことが求められる ●基金や自主財源が乏しく、財政の弾力性が硬直し歳入確保に向けた大型投資等ができない ●少子高齢化の進展による社会保障費などの行政需要が拡大する一方、人口減や経済活動の沈滞などによる税収減が懸念される
学力向上対策	●進学校の誘致 ●学力向上対策チームの創設 ●中学校の宿題実施 ●空き教室に塾講師の派遣 ●塾代助成事業	●泉州に高校や大学などの学校が少ない ●小中学校の学力が全国・府平均より継続して低い ●学力が低い状況が10年以上続いており、教育委員会及び教育現場の問題解決力に疑問が残る
りんくうタウン早期開発による歳入確保	●PFI方式によるりんくうタウンの早期開発 ●りんくうタウンエリアへのホテル誘致	●泉南イオン以外で集客拠点となる場所が少ない ●飲食店などのサービス産業が低調のため、泉南市内で経済が回らない ●観光客が訪れるスポットが少ない
空港機能強化・経済政策(中広域)	●万博誘致に伴う、関西国際空港泉南部分のエリア拡充 ●関西国際空港連絡南ルート建設	●集客拠点である関西国際空港を活かしきれていない ●自主財源が低く、稼ぐ力が乏しい ●台風21号の経験から、関空橋が通行止めになると関空利用者等が孤立してしまう